

○「支え合うまち」  
をテーマに

「互いに支え合  
って生活できるま  
ち！」これをテーマ  
に九月二十七日、第  
二回ワークショップ  
が笠松中央公民

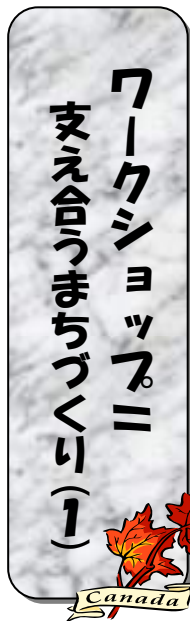
館で開催されました。福祉や生涯学習  
関係の活動をされている方、「道徳のま

ち笠松」の関係者など二  
十八名が集まりました。

いろいろな立場の方が「支  
え合うまち」について意見  
交換するのは、はじめて  
のことです。

○近所の「おつきあい」が

支え合うまちといってもどんな点か  
ら考えていったらいいのか。平成十九  
年度に興味深い調査が行われました。  
近所づきあいに関するものです。その



○幅広いボランティア活動へ

もうひとつ、支え合うまちづくりで  
大切にしたいのがボランティア活動で  
す。調査によると、笠松では現在活動  
している人と過去に活動していた人を  
合わせると約四割の人がボランティア

結果を見ると、相談したり互いに行き  
来したりするような深いおつきあいを  
している人は約四割、あいさつ程度のお  
つきあいをしている人が約六割です。

支え合って生活できるまちをめざす  
には、この近所づきあいをどのようにし  
てみんなが深めていくかが課題です。近  
所でのつきあいが深まれば、地域活動  
に参加しやすくなります。地域活動に  
参加すると人とのかわりも一段と深

まり、近  
所づきあ  
いも深ま  
ることに  
なります。

活動にかかわっています。現在取り組  
んでいる人の活動内容は、ごみ・リサ  
イクル活動、清掃・美化・緑化活動や  
交通安全・防犯活動が上位を占めます。  
今後、ボランティア活動をやっていき  
たいと考えている人は、約三割。その  
活動内容は、清掃美化活動以外に、町  
づくり、生涯学習、環境・自然保護活動、  
交通安全・防犯活動、高齢者への支援な  
ど、活動の分野が広がっています。



支え合うまちづくりについて  
グループごとに話し合う